

上手に使おう 横浜の水
～健康と豊かな暮らしは蛇口から～

「はまっ子どうし The Water」で **アフリカ支援！**

売上金の一部を JICA 基金に寄附します！

水道局では、2008年に第4回アフリカ開発会議(TICAD IV)が横浜市で開催されたことを契機に、横浜市オフィシャルウォーター「はまっ子どうし The Water」の売上金の一部を独立行政法人国際協力機構(JICA)基金に寄附してきました。

今年度もアフリカ支援に活用していただくため、寄附金の贈呈式を開催します。

～贈呈式～

日時：令和4年1月12日(水) 14:00 から 14:30 まで(予定)

場所：JICA 横浜 2階(横浜市中区新港二丁目3-1)

参加者

JICA 横浜所長
横浜市水道局長

中根 卓氏
大久保 智子



昨年度の様子

アクセス

(JR・市営地下鉄)桜木町駅から徒歩15分

(みなとみらい線)馬車道駅4番出口から徒歩8分



※はまっ子どうし The Water とは…

横浜市オフィシャルウォーターであり、横浜市の水源のひとつである道志川の清流水を詰めたボトルドウォーターです。

また、売上の一部を環境貢献や国際支援のために寄附する等、環境にやさしい社会づくりに貢献しています。

- ・取材を希望される場合は、令和4年1月7日(金)までに水道局公民連携推進課にご連絡ください。なお、会場に駐車場はありませんので、公共交通機関をご利用いただくか、お近くの有料駐車場をご利用ください。
- ・当日の写真を提供することも可能です。

お問合せ先

水道局事業推進部担当課長(公民連携推進担当) 中村 勝利 TEL 045-671-3083

裏面あり

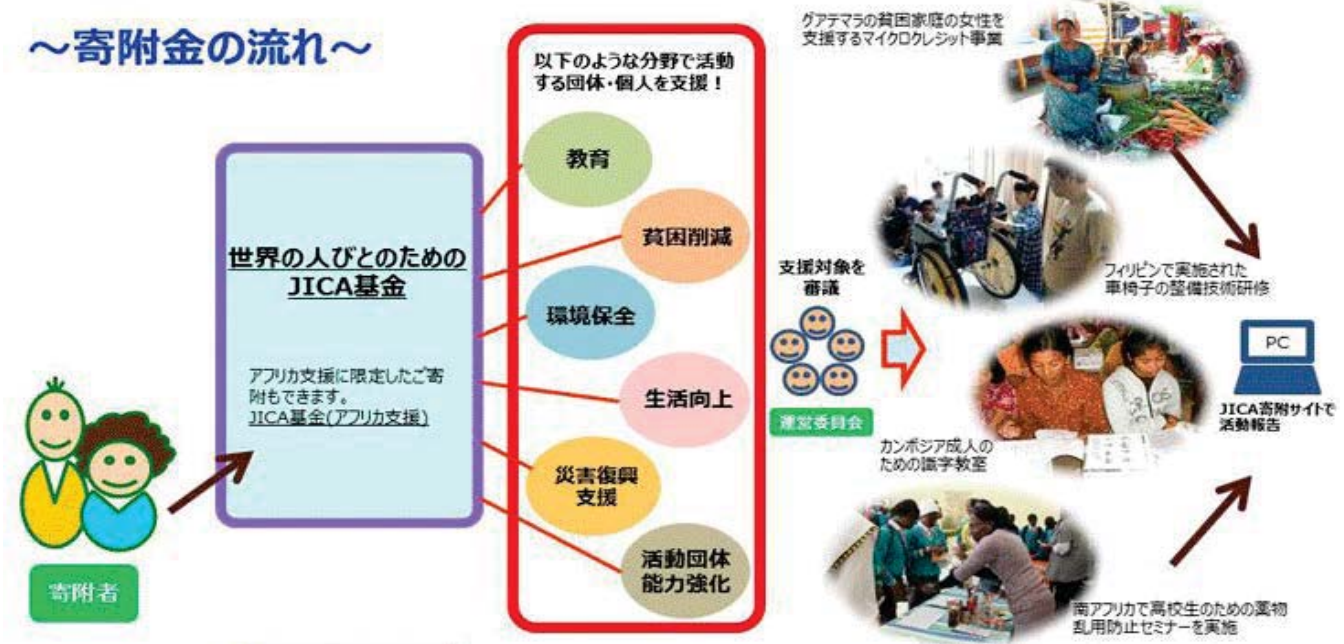
参考 (JICA 横浜より資料提供)

JICA 基金について

「アフリカ問題の解決なくして 21 世紀の世界の安定と繁栄はない」という視点のもと、日本はアフリカの抱える問題に積極的に取り組んでいます。

アフリカは、様々な形で数多くの日本人びとが関わってきている地域ですが、世界の中でも、特に平和で豊かな生活を営めない人びとが多い大陸でもあります。

「世界の人びとのための JICA 基金 (アフリカ支援)」は、アフリカを身近に考え、アフリカの人びとが平和で真に豊かな生活ができるような取組を応援するための寄附制度です。



支援例

ケニアにおける循環型社会形成を目指した リサイクルバックの製作による貧困層の女性と子どもたちのエンパワーメント事業

対象国:ケニア 団体名:特定非営利活動法人 Little Bees International

日雇いの洗濯業や、路上での食材の調理販売といった限られた職種にしかアクセスできない、また HIV の感染率も高く、養う子どもたちも多い貧困層のシングルマザーの女性たちにとって、本事業が提供した、循環型社会形成のためのリサイクルバック製作活動は、女性たちに居場所を提供しただけでなく、自らのスキルに自信を持ち、不安や心配事を共有できる仲間たちとの絆の醸成にも大きくつながっています。ケニアで 30 年近くの活動実績のある日本の NGO と協働で裁縫研修も行い、キャパシティビルディングにもつなげています。バックには、団体が推進する循環型社会のキーワード「Mottainai」や「Stop Child Labors!」や「Education is Power」といったメッセージを付けることにより、SDG1・5・12の達成と、社会へのアドボカシー効果も狙いました。

